

授業科目 嚥下・摂食障害

【担当教員名】 今井信行・西尾正輝	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 摂食・嚥下障害について、関連器官の解剖学的形態、運動様式を把握し、機能障害の発症原因を理解するとともに、検査・評価方法、診断方法、治療・訓練方法について学習する。				
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1、摂食器官の構造と各器官の運動様式を理解する 2、嚥下器官の構造と各器官の運動様式を理解する 3、食物の認知機構を理解する 4、咀嚼運動、嚥下運動に関して各関連器官の協調運動を理解する 5、摂食・嚥下障害の発症原因と、発現する機能障害を理解する 6、摂食・嚥下障害の検査・機能評価方法と診断方法を理解する 7、摂食・嚥下障害の治療・訓練方法を理解する				
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1 摂食・嚥下に関する器官の形態、感覚、運動 2 口腔内の食物認知と咀嚼運動の制御機構 3 嚥下運動の制御機構 4 摂食・嚥下障害の発症要因と機能障害の分類 5 摂食・嚥下障害の検査・診断 6 摂食・嚥下障害の治療訓練 7 摂食・嚥下障害の治療訓練			講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義
【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	よくわかる摂食・嚥下のメカニズム	山田好秋	医歯薬出版	2004年・3990円
	摂食・嚥下障害の患者さんと家族のために	西尾正輝	インテルナ出版	1999年・1050円
参考書	摂食・嚥下リハビリテーション	金子芳洋、千野直一	医歯薬出版	1998年・6510円
	脳卒中の摂食・嚥下障害 第2版	藤島一郎	医歯薬出版	1998年・4830円
その他の資料				
【評価方法】 定期試験	【履修上の留意点】			